

めて、三春^{みはるえき}駅付近を通りすぎ、宮田地内で桜川に流れこむ。

要田^{したんだ}駅付近から四反田地内にかけては、人里^{ひとざと}からはなれて流れている。山あいを流れるこの川の川床には、大小の岩石があり、水もきれいである。そこにはドジョウ、フナ、サワガニなどがみられる。川岸の土手には、アヤメやノカンゾウの仲間^{なかま}が見られ、フジやトモエ草なども生^はえている。

三春北大橋あたりの八島川は、磐越東線^{こうき}と交差しながら流れており、溪谷^{けい}美^びを見せている。



八島川と磐越東線

三春駅付近から、両岸はかなり広がっている。

これは、川が長い歴史^{れきし}の

中で、洪水^{こうずい}などによって両岸がけずられたり、土や砂がたい積^{せき}したりして、比較的^{ひかくてきたい}平らになっているためである。しかし、駅^す付近を過ぎると、川幅はせまくなり、流れも急になって、桜川へとそそいでいく。

(4) 移川^{うつしがわ}

三春町の北東にある沢石^{さわいし}地区の一番北を、東から西へと、山あいをぬうように流れていく川、それが移川^{うつしがわ}である。

移川^{うつしがわ}の水源^{すいげん}は、双葉郡^{ふたば}と田村郡^{たむら}との境^{さかい}にある竜子山^{たつごやま}あたりで、船引町^{ふねひき}の移^{うつし}、瀬川^{せがわ}地区^{せがわ}を通して沢石^{さわいし}に流れ込み、安達郡^{あだち}